

インフルエンザ予防接種を受ける前に

予防接種を受ける義務はありません。予防接種の意味や副反応などをよく理解し、医師とも相談したうえでお決め下さい。十分に納得できない場合には、接種を受けないで下さい。

インフルエンザとは

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こります。咳やくしゃみでうつります。普通の風邪に比べて全身症状が強く、気管支や肺炎などを合併し、重症化することもあります。

予防接種の効果

予防接種後、抵抗力がつくまでに2週間程度かかり、その効果が十分に持続する期間は約5ヶ月間とされています。

特に高齢者の発病防止や重症化防止に有効です。

副反応



予防接種部位…赤みを帯びる、はれる、痛む
微熱、悪寒、頭痛、全身のだるさ

通常2~3日のうちに治ります

接種後数日から2週間以内に…発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害
非常にまれに…ショック、じんましん、呼吸困難

接種部位が痛みや熱をもってひどくはれたり、全身のじんましん、くりかえす嘔吐、顔色の悪さ、低血圧、高熱などが現れたら……

医師の診察を受けてください

予防接種を受けることができない人	担当医師とよく相談しなくてはならない人
<ul style="list-style-type: none"> ① 明らかに発熱のある人 一般的に 37.5℃以上 ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人 ③ インフルエンザの予防接種により、アナフィラキシーを起こしたことがあることが明らかな人 ④ 予防接種で接種後2日以内に発熱がみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある人 ⑤ 医師が不適当な状態と判断した場合 	<ul style="list-style-type: none"> ① 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人 ② 免疫検査で異常を指摘されたことがある人、過去に免疫不全の診断がされている人

予防接種の後の
一般的注意事項

- ① 接種後 30 分間は、医療機関で様子を見ましょう。
- ② 接種後 24 時間の体調に注意しましょう
- ③ 入浴は差し支えありません。(注射部位は強くこすらないように)
- ④ 当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ⑤ その他、医師の指示にしがいましょう。

インフルエンザの
予防には

ウイルスを避ける・・・人ごみを避ける
 外出時はマスク利用・・・帰宅時のうがい・手洗い
 ウイルスの広がりをおさえる・・・加湿器などを活用する
 体力をつける・・・十分な栄養や休息をこころがける
 予防接種・・・流行する前に受ける